



石狩市は「小型電子・電気機器リサイクル」の先進都市です

あの家庭ごみが 「都市鉱山」!?

まちづくりの新たな胎動をいち早くキャッチしてご紹介するシリーズ「まちづくり最前線」。

第8回は
〈リサイクル〉について。



リポーター
ごみ対策課
齊藤 智春

皆さんの周りには、不要になった携帯電話やパソコンなどはありますか？ 今回は、市のごみ減量化の取り組みとして、全国にも先駆け行われている「小型電子・電気機器」のリサイクルについてリポートします。

ごみ対策課では、これまでごみ減量に向け、ミックスペー・パーや廃食用油、紙パック、剪定枝葉、インクカートリッジ、古着・古布、電池などの回収を積極的に行い、資源のリサイクル化を図ってきました。今回紹介する「小型電子・電気機器リサイクル」も、もちろんその一環として行われるものであります。

ここで言う「小型電子・電気機器」とは、携帯電話やパソコン、デジタルカメラといったもの（市では品目を指定しています。下記でご確認ください）。

これらは皆さんから家庭ごみとして

出されると、市が処分場で破碎機にかけ、燃えないごみとして埋め立てることがあります。

しかし、市内7カ所にある専用回収ボックスに持ち込んでいただければ：これらは徹底的に解体され、鉄や銅、アルミ、プラスチックなどにリサイクルされる仕組みになっています。埋め立地に向かうはずだったごみを、この時点できっと減らすことができるのです。

そんな「小型電子・電気機器リサイ

クル」の仕組みができたのは、平成21年6月1日のこと。全国に先駆けてスタートが切れたのは、新港地区に専用の解体工場を持ち、長年リサイクル技術を培ってきた株式会社マテックの全面協力があつたからでした。

春は買い替えの季節。さて、あなたの家で眠っている「小型電子・電気機器」はありませんか？ あつたらぜひ回収ボックスまでお持ちください。

お昨日、家電リサイクル法に定められた製品や電子炊飯器、掃除機などが回収ボックスに持ち込まれるケースが見受けられます。これらは「小型電子・電気機器リサイクル」で指定した品目ではありませんので、お間違いないよう、ご協力をよろしくお願ひいたします。

これからも市民一體となつてごみを確実に減らしていきましょう！

平成23年度 回収実績BEST5

- 1位 HDD(386個)
- 2位 アダプタ類(359個)
- 3位 リモコン(299個)
- 4位 オーディオ(261個)
- 5位 スピーカー(242個)

これが石狩市で回収している 小型電子・電気機器です！

そのほかの回収品目：デジタルカメラ・ビデオカメラ・DVDデッキ・ノートパソコン・ゲーム機・携帯電話・携帯音楽プレーヤー（CD、MD、MP3、iPodなど）・電話機・ファクシミリ・ワープロ・電子手帳・電子辞書・電卓・CDドライブ・DVDドライブ・無線LAN・電話端末（モデムなど）・パソコン部品・パソコン周辺機器・カードリーダー・カーナビ・カーテレビ・カーオーディオ・ETC・GPS関係装置・トランシーバー・小型液晶テレビ（携帯型）・チューナー（デジタル、CATV）・充電器・電源ケーブル・接続コード・ゲームソフト・小型ヘッドホン・イヤホン・各種メモリー（USB、コンパクトフラッシュ、スマートメディア、メモリースティック、マルチメディアカード）・LANケーブル



小型電子・電気機器回収ボックス



パソコンの解体風景。基板、液晶パネル、バッテリー、HDD、被覆電線などに解体し、貴金属やレアメタル、プラスチックなどを回収します。1台解体には7~15分でOK!

◎(株)マテックの石狩OA機器解体工場に行ってきました!

